

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2018-6-15

APM news 192

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



2018年度 秋山孝ポスター美術館長岡 5月12日(土)pm1:00~pm2:00

運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2018年5月12日(土)、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)・蔵において、2018年度APM運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議を開催した。2017年度の事業活動、会計収支決算を報告、2018年度事業計画、会計収支予算を発表した。

2017年度の事業報告としては、2回の企画展、4回の美術館大学、1回のワークショップを、また前年度に引き続き日本ブックデザイン賞2017を開催したことを報告した。館外で行う特別企画展としては、「ふなばしアンデルセン公園子ども美術館 JBD2016『マッチ売りの少女』受賞・入選作品特別展示」「長岡まちなかミュージアム2017『秋山孝のメッセージ』」、「秋山孝貼紙展中之口」を開催した。更に「秋山孝ポスター展」(タイ・プラファ大学)、「ウンベルト・エーコへのオマージュ展」(ボリビア)、ラハティ国際ポスタービエンナーレへの出品(フィンランド)など、海外での展示も行った。

昨年導入した「開館週3日、事前予約制」は、開館日を限定し事前予約制とすることで、APMだけでなく、APM・蔵を含めた2つの施設をガイド付きで案内することである。この3日制を導入したことにより、特別企画展を開催することができた。APM及びAPM・蔵の入館者数は1,214名で、2016年度の2,656名の半数以下であるが、特別企画展の入館者数16,957名を加算することで2017年度入館者数は18,171名と大幅に増加することとなる。また、事前予約制をとることで来館の目的がはっきりし、来館者自身の意識も高まったと考える。

2018年度の事業計画では、2回の企画展、4回の美術館大学、1回のワークショップ、日本ブックデザイン賞2018、2つの特別企画展として、ふなばしアンデルセン公園子ども美術館でのJBD2017「赤い靴」受賞・入選作品の展示と、中之口先人館で「地震ポスター支援プロジェクト」のポスター展示を開催する予定であることを発表した。

2017年度会計収支決算、2018年度会計収支予算についても説明し、承認された。

開会の挨拶でAPM運営委員会会長・豊口協氏は、「これから10周年を迎えるAPMが、どのような目的、機能を持ち、どういった人々のサポートを受けながら、この歴史ある宮内・摂田屋という地域で活動していくのが非常に重要な課題となるのではないかと語った。APM館長・秋山孝も閉会の挨拶の中で「長岡市も変化していく中で、地域の方々と協力しながら活動していきたい。もう一度気合を入れ直してAPMをいい形にしていきたいと考えている。今後も皆様のご協力をお願いします」と会議を締めくくった。(森山奈帆・APM職員)

出席者 13名 / 運営委員会: 秋山孝(館長)、豊口協(会長)、牧野忠昌(副会長)、高田清太郎(副会長)、渡辺誠介(幹事)、高田勉(幹事)、柳慶明(幹事代理) / サポーターズ倶楽部役員: 高田清太郎(会長)、秋山孝(顧問)、覚張良裕(理事)、今井進太郎(理事) / 事務局: たかだみつみ(学芸員)、森山奈帆(職員)、神林弘子(サポーター) / オブザーバー: 馬場信行(長岡市都市整備部都市計画課)